



令和6年度 山内図書館事業計画書

有隣堂グループ

2024年3月

目 次

1. 施設と図書館の概要	2
2. 指定管理者	2
3. 山内図書館のコンセプト	3
4. 5年間の達成目標	3
5. 山内図書館の現状と課題	3
6. 令和6年度の事業計画	5
7. 予算案（令和6年度収支予算書）	13
別紙1 令和6年度 山内図書館自主企画事業 年間計画表	
別紙2 令和6年度 山内図書館学校連携事業 年間計画表	
別紙3 令和6年度 山内図書館建築・設備保守管理実施予定表	

1. 施設と図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体 4,433.28 m ²)
延床面積	2147.22 m ²
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、 身障者用1台)



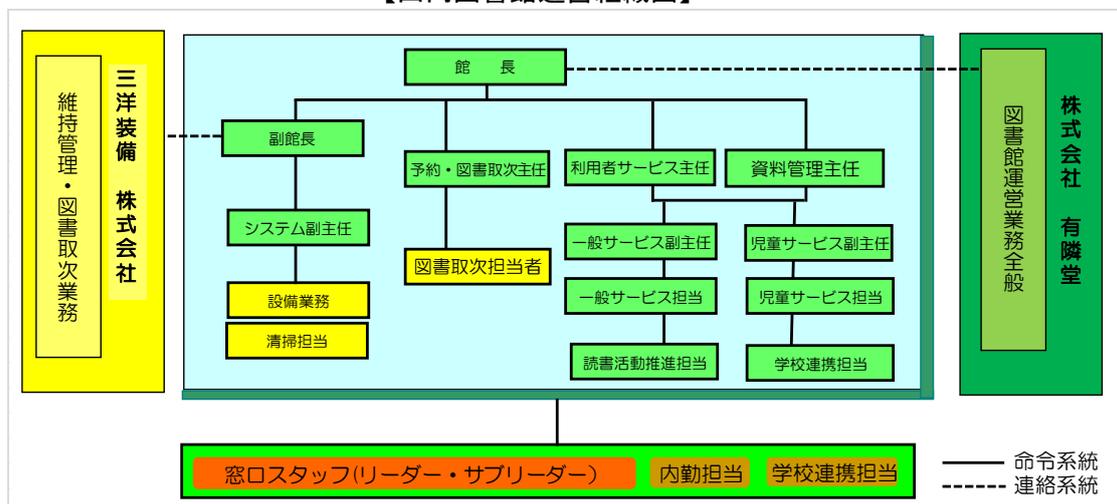
山内図書館は、昭和52年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(192,004冊 典拠：『横浜市の図書館2023』)と規模の大きい図書館です。平成22年度から有隣堂グループを指定管理者とする管理運営が行われており、令和2年度から令和6年度の期間も引き続き有隣堂グループによる指定管理運営を行います。

2. 指定管理者

名称	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表団体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信健太郎
構成団体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生龍太郎
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務を始め、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。

【山内図書館運営組織図】



3. 山内図書館のコンセプト

「地域」の力を「地域」に還元！ 山内図書館は青葉区民のプラットフォーム

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」（平成 26 年施行）のもとで、図書館に「地域連携」という新たな課題が示された第二期では、積極的に地域との連携を図ってきました。第三期ではさらに連携を進め、地域コミュニティ創造の担い手として、民間ノウハウ・民間能力を存分に発揮し、インパクトのある事業の創出や、チャレンジ感溢れる取り組みを実践し、地域に根ざしたサービスの拡充に努めます。

4. 5年間の達成目標（令和2年4月～令和7年3月）

指定管理の実施により達成すべき目標は以下の3つです。

- (1) 地域の情報拠点機能を強化し、地域の要望や要請に応えられる蔵書構築に努め、暮らしに役立つ情報の収集・提供を行います。
- (2) 司書が読書活動コーディネーターとして地域との連携をすすめ、地域の読書活動を推進します。
- (3) 快適で楽しい読書環境づくりを促進します。

5. 山内図書館の現状と課題

(1) 令和5年度までの利用状況

		入館者数	貸出冊数 ※	図書取次 貸出冊数	新規登録者数	自主企画事 業参加者数
	平成 21 年度	540,679	※ 811,662	92,383	7,043	2,669
一 期	平成 22 年度	549,059	※ 787,102	103,110	6,786	3,446
	平成 24 年度	560,787	※ 719,596	110,857	5,945	4,718
	平成 26 年度	551,121	654,164	105,211	5,921	4,868
二 期	平成 27 年度	543,330	654,705	108,496	5,890	5,241
	平成 29 年度	533,085	634,517	119,395	6,043	4,441
	令和 元年度	506,932	599,724	107,268	5,157	3,841
三 期	令和 2 年度	358,983	531,417	104,144	3,671	843
	令和 3 年度	451,646	663,293	131,695	5,076	1,528
	令和 4 年度	440,252	680,499	129,914	4,408	3,463

※ 平成 24 年 12 月以前はインターネットによる貸出延長を含む

令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類に移行し、令和 5 年度は事業数、参加者数が増加しました。感染対策のために参加人数を申込制にして管理してきましたが、定例のおはなし会や「あざみ野ブックカフェ」の一部はコロナ前の、自由参加のスタイルに戻しています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症は終息した

わけではなく、夏以降インフルエンザの流行もみられたことから、引き続き感染対策を施しながら図書館を運営しました。区内の小中学校も校外活動を再開したところが多く、山内図書館でもインターンシップや職業体験、図書館見学を受け入れました。また、学校連携担当が各校からの要請に応え、学校を訪問して図書館運営の支援を行いました。

(2) 横浜市図書館ビジョン

令和6年2月に策定された「横浜市図書館ビジョン（原案）」で打ち出された新たな図書館像及び基本方針を踏まえて、読書活動推進や図書館運営に取り組んでいきます。

- ①未来を担う子どもたちのための図書館
- ②あらゆる市民のための図書館
- ③まちとコミュニティのための図書館
- ④利用しやすい図書館サービス
- ⑤柔軟に変化し魅力がいつまでも持続する図書館

(3) 青葉区民読書活動推進目標

令和2年度に策定された「第二次青葉区民読書活動推進目標」に掲げた、下記2つの目標を柱として、読書推進活動を進めていきます。

- ①読書活動を介したコミュニケーション力の向上と、区民が本に親しむ環境づくり
- ②読書活動ボランティア相互の連携と、活気ある地域づくり、担い手づくり

(4) 利用者意見

意見箱、電話、窓口等に令和5年度もたくさんのご意見をいただきました。

ア 令和6年度以降に改善の検討が可能であるご意見

- ・座席予約席でWiFi接続が切れてしまうときがある
- ・本を選ぶときのためのカートやカゴがほしい
- ・駅ポストが満杯で入れられなかった。回収回数を増やしてほしい

イ 将来的に検討を続けていく意見

- ・路上駐車が多い
- ・駐車場に朝からずって停めている人がいる。ちゃんと管理してほしい

ウ 令和5年度中に対応して改善にいたった意見

- ・窓際の席はすきま風が入って寒い→アルミテープですき間をふさいだ
- ・入口のチャイムがうるさい→機器を交換し音量をしばった
- ・横浜市ホームページに掲載されている山内図書館の小型家電設置場所がわかりにくい→設置場所を「線路側入口横」に修正依頼し、修正済み
- ・一般書架の北東角の雨漏り→天井の排水管を修理した
- ・ホームページの階層が深い→ホームページをリニューアルした

6. 令和6年度の事業計画

(1) 令和6年度の運営目標

横浜市図書館ビジョン（原案）を踏まえて、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の人びとが、豊かな読書活動を行うことができるように山内図書館を運営していきます（次掲表に対応基本方針を明示）。また、令和2年度に策定した「第二次青葉区民読書活動推進目標」を軸に青葉区役所や区内市民利用施設、ボランティアや市民と協働して読書活動を推進します。

視点	令和6年度運営目標	令和6年度管理指標・数値
ア 利用 者 サ ー ビ ス	（ア）区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携して地域の読書活動を推進します 【図書館ビジョン基本方針3】	<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターまつりへの事業協力 1回 ・乳幼児健診のおはなし会開催 10回 ・修理ボランティアに活動の場を提供 50回 ・読み聞かせボランティアに活動の場を提供 45回 ・ボランティアの支援・養成講座開催 読み聞かせ（初級） 1回 読み聞かせ（ステップアップ） 1回
	（イ）読書活動推進のために、区内の読書活動拠点のネットワークを構築します 【図書館ビジョン基本方針3】	<ul style="list-style-type: none"> ・読書関係団体交流会（青葉区役所との共催） 1回 ・図書取次事業の継続 7施設
	（ウ）図書館の環境を整備・改善していきます 【図書館ビジョン基本方針4】	<ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化 未交換部分 ・貸出本を入れるカゴの設置 30個
	（エ）インクルーシブな図書館を目指します 【図書館ビジョン基本方針2】	<ul style="list-style-type: none"> ・りんごの棚の拡充 10冊 ・Dボックスの補強 10冊 ・対面朗読の実施 20回 ・世界アルツハイマー月間事業 2本 ・県立特別支援学校への協力 依頼に対応 職業体験 図書館見学 ・スタッフ研修（人権研修） 1回 ・有料託児サービス実施 15回
	（オ）市民の課題解決支援、読書活動の支援となる事業を展開します 【図書館ビジョン基本方針1】 【図書館ビジョン基本方針5】	<ul style="list-style-type: none"> ・自主企画事業 別紙1参照

視点	令和6年度運営目標	令和6年度管理指標・数値
ア 利用者サービス	(カ) レファレンス機能を充実させます 【図書館ビジョン基本方針5】	・レファレンスカウンター「よろず相談 処」への職員配置 常時 ・横浜市立図書館共通利用商用データベースの活用 8種 ・山内図書館独自導入商用データベースの活用 5種
	(キ) 地域資料を継続的に収集し、地域情報を発信します 【図書館ビジョン基本方針3】	・青葉区役所におけるパンフレットおよびリーフレットの収集 20回 ・横浜市の鉄道と街をテーマとした講演会 (講師：有隣新書著者) 1回 ・街あるき倶楽部の活動 4回 ・地域の伝統芸能の見学講座 1回 ・地産地消の移動販売の実施 10回 ・横浜市ハマトレ実施 20回
	(ク) 学校への支援を積極的にすすめます 【図書館ビジョン基本方針1】	・学校連携事業 別紙2参照
	(ケ) 広報媒体を見直し、効率的に情報を発信します 【図書館ビジョン基本方針4】	・ホームページの更新 適宜 ・ブログを活用した自主企画事業の広報と報告 24回 ・SNSを活用した情報発信 X(旧ツイッター) 随時 ・青葉区役所戸籍課への図書館作成チラシ提供 600枚×12回 ・図書館だよりの発行 4回
イ 業務運営	(ア) コンプライアンスの徹底を図ります	・コンプライアンス研修 1回
	(イ) 防災への取り組みをすすめます	・山内地区センターと合同で行う災害時対応研修 2回
	(ウ) 危機管理、安全衛生管理を徹底し、安心・安全な図書館をつくります	・防犯カメラの運用と図書館スタッフ、設備管理スタッフによる巡回 適宜 ・事件事故防止マニュアルの確認と有事初動の確認 確認
	(エ) 個人情報の保護を徹底的に実施し、遵守についてスタッフ全員に周知します	・横浜市個人情報取り扱い ・個人情報保護内部監査(有隣堂プライバシーマネジメントシステム定期監査) 6月 ・個人情報整備・保護点検 10月 ・個人情報棚卸 2月 ・個人情報保護研修 2回

視点	令和6年度運営目標	令和6年度管理指標・数値
イ 業務 運営	(オ) 施設・設備の維持管理を適切に行います	・建築物・建築設備の維持管理 通年 ・計画的な修繕
ウ 職員 育成	(ア) スタッフへの教育・研修を実施し、能力向上・意欲の維持向上に努めます 【図書館ビジョン基本方針5】	・接遇研修 1回 ・人権研修 1回 ・アルバイト向け資料検索講座 1回 ・事件・事故を想定した危機対応研修 1回
エ 財務	(ア) 予算内に経費を抑え、効率的に管理します	・山内堂の売り上げ 11万円 ※3期の実績に基づき算出

(2) 令和6年度の具体的な取り組み

ア 利用者サービス

(ア) 地域の読書活動推進

- ・青葉区役所や区内市民利用施設、ボランティアや市民と協働して読書活動を推進します。
- ・令和2年度に策定した「第二次青葉区民読書活動推進目標」に沿って事業を展開します。
- ・同じ建物内の山内地区センターまつりへの事業協力を行います。
- ・青葉区役所こども家庭支援課と読書活動推進事務局会議を定期的（月1回）に開催し、協力体制を維持します。
- ・青葉区役所で行われる乳幼児健診（1歳6か月）に図書館職員と読み聞かせボランティアが出向き、手遊びやわらべうたを交えたおはなし会を開催します。
- ・読み聞かせのボランティアの養成講座を開催します。春に初級編、秋以降ステップアップ編を開催予定です。受講修了者がボランティアとして活動できるようにフォローアップを行います。
- ・修理ボランティアに活躍の場を提供します。現在活動している2グループには、山内図書館で定例の活動日を設け、本の修理をしてもらいます。学校連携事業にも参加してもらい、受講者の手助けを担当します。
- ・読み聞かせボランティアが活躍できる場を作ります。区内の施設や団体から話し手の依頼があった場合は、読み聞かせボランティアとのコーディネートを行います。また、山内図書館が開催する各種おはなし会に参加してもらいます。

(イ) 読書活動拠点のネットワークを構築

- ・青葉区内の読書関連施設や団体、ボランティア等を繋げていきます。
- ・「読書関係団体交流会」を青葉区こども家庭支援課と共催します。図書貸出施設の担当者、読み聞かせボランティア、学校司書等が集まり読書活動の情報共有および交流を進める会とします。

(ウ) 図書館内の環境整備

- ・使いやすく、居心地のよい図書館にしていきます。
- ・LEDに未交換の照明について、LED化を進めます。
- ・借りる予定の本を入れるためのカゴを30用意します。貸出数が10冊に変わってからは特に、カゴかカートを用意してほしいという声が複数あがっており、ご意見に応じて用意します。

(エ) インクルーシブ図書館

- ・障害のある人が利用しやすい環境を整備するとともに、利用したい蔵書を構成していきます。
- ・障がいのある人が利用しやすい本を集めた「りんごの棚」の本、および認知症関連の本を集めた「Dボックス」コーナーの本を引き続き購入します。
- ・対面朗読の申し込み者と音訳者のコーディネイトを速やかに進めます。
- ・世界アルツハイマー月間の9月に、認知症関連の講座等を開催します。やさしいまちあざみ野実行委員会、青葉区の地域ケアプラザ等と協力して企画立案・実行していきます。
- ・希望があった場合は、県立特別支援学校2校から職業体験を受け入れます。同じく希望があった場合は、県立特別支援学校の小学部の図書館見学の受け入れをします。

(オ) 自主企画事業：年間計画は別紙1参照

- ・子ども向けの講座を開催し、知識の窓を開きます。併せて基本方針5に則り、複数の団体やボランティアと協力して山内図書館の事業を展開します。
- ・年間を通じて課題解決に役立つ講座を開催します。また、横浜市や青葉区の各課と連携した展示等を予定しています。
- ・夏休みに児童を対象とした講座を開催します。「一日図書館員」「科学講座」を予定しています。
- ・定例のおはなし会に加えて、春と秋および新年の特別おはなし会、おはなしフェスティバルを開催し、子どもたちに図書館への来館を促します。
- ・大型講演会を開催し、図書館未利用者へ図書館利用を働きかける機会を創出します。
- ・夜間開館の時間を利用して「あざみ野ブックカフェ」を開催します。題目によっては申し込み制とはせずにフラッと立ち寄ってもらい、紅茶を飲みながら話を聞く、ワークショップに参加するというスタイルで開催する予定です。

(カ) レファレンス機能の充実

- ・効率的なツールを使ってレファレンスサービスを提供します。また、研修への参加や情報共有により職員のレファレンススキルを上げることに尽力します。
- ・レファレンスカウンター「レファレンス専用デスク・やまうちよろず相談処」に職員が常駐し、市民の課題解決を支援します。
- ・横浜市立図書館共通で利用する商用データベースおよび国会図書館デジタル化資料送信サービスをレファレンスに活用していきます。各々のデータベースの

変更等を速やかに把握し、最新の状態で利用者に提供できるように研さんします。

- ・以下の山内図書館独自契約の商用データベースを継続します。

- ①日経テレコン21
- ②朝日新聞クロスサーチ
- ③ヨミダス歴史館
- ④官報情報検索サービス
- ⑤ルーラル電子図書館（農文協）

(キ) 地域資料の継続的収集と地域情報の発信

- ・地域資料を収集、整理し市民に提供します。
- ・青葉区役所に出向いて、行政資料やパンフレット、リーフレットなどを収集します。集めた資料は、精査の上、図書館資料として登録していきます。
- ・地域のミニコミ誌で紹介された地域資料を入手します。また、地域の人々から寄せられた情報をもとに、郷土資料を発掘し、図書館資料として登録していきます。
- ・郷土史を学びながら「街歩き」を楽しむ倶楽部を継続します。10月には、神奈川県無形文化財に指定されている伝統芸能「牛込の獅子舞」を見学する街歩きを予定しています。
- ・青葉区の写真を収集してデジタル化し閲覧できるように構築した「青葉区風景写真データベース」を提供します。市民から写真提供があった場合は、データを追加していきます。
- ・地産地消をコンセプトとする移動販売「萬駄屋」の開催を継続します。
- ・ハマトレを図書館の前庭等で継続して定期的で開催します。
※ハマトレとは、加齢に伴う筋力の低下や骨・関節の疾患などの運動器の障害が起こり、「立つ・座る・歩く」などの移動能力が低下する「ロコモティブシンドローム」を予防するため、横浜市が高齢者の「歩き」に着目して開発した「家の中でも簡単にできる」トレーニング。

(ク) 学校への支援：年間計画は別紙2参照

- ・学校図書館への支援を行い、子どもたちが読書に親しむ下地をつくります。
- ・年度当初に各小中学校に対して、学校支援のプログラムを校長会を通じて配布します。6月の学校司書研修の際、プログラムの内容を再度紹介し、各学校への周知を図ります。
- ・学校図書館の環境整備相談の依頼に対して、学校を訪問して対応していきます。
- ・中学生の職業体験、高校生のインターンシップ、大学生の図書館実習などのプログラムや学校図書館教育研究会のプログラムに、以下の読書活動推進ツールを組み込んでいきます。
 - ①ビブリオバトル
※本の紹介コミュニケーションゲーム
 - ②Life with Reading
※慶應義塾大学井庭崇研究室と株式会社有隣堂の共同開発ツール、「創造的読書」の考え方を言語化し27個の言葉にまとめたカード

③本の楽しみ方カードワークショップ

※Life with Reading の子ども版。ワークショップの形態が多数あり、参加人数や学年に応じて新しい形態を取り入れていくことが可能

(ケ) 広報活動

- ・積極的な情報発信を行います。
- ・ホームページを適宜更新していきます。職員全員が更新できるように、令和5年度に WordPress でホームページを再構築しました。悪天候や感染症の流行などにより急な開館時間の変更等があるときでも、迅速に「お知らせ」を更新します。
- ・ブログを活用して事業の広報を行います。ホームページとの差別化を図り、集客につながる内容とします。月末に翌月の事業予定をまとめて紹介し、月半ばには前月の事業の報告を掲載します。開催された各事業がどのような内容なのか、写真と記事で伝わるように工夫しています。
- ・SNS 広報の一環として X を継続します。広く拡散されるよう工夫していきます。
- ・青葉区役所戸籍課協力の下、青葉区への転入者に図書館サービスのチラシを配布し、山内図書館のサービスを周知します。
- ・紙媒体の広報として『図書館だより』を年4回発行します。

イ 業務運営

(ア) コンプライアンスの徹底

- ・法令遵守と倫理の徹底を図ります。職員は、有隣堂のエシックスカードを常時携帯し行動します。また、年度当初に企業行動指針を基にしたコンプライアンス研修を実施します。
- ・山内図書館の令和5年度運営情報（「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「セルフモニタリング評価書」）をホームページ上で公開します。

(イ) 防災への取り組み

- ・「災害対応マニュアル」をスタッフ全員で共有します。
- ・併設の山内地区センターと合同で災害時対応研修を年2回実施します。

(ウ) 危機管理、安全衛生管理の徹底

- ・職員会議を週1回開催し、図書館運営上の課題を話し合い改善していきます。
- ・職員とアルバイトスタッフの代表で月1回ミーティングを行い、安全衛生を含めた課題を話し合い、解決していきます。
- ・図書館の両入口付近、および児童コーナーに設置した防犯カメラを運用します。
- ・施設管理者が館内外を巡回します。また、職員は、カウンター業務が終了した際に館内を巡視します。
- ・「事件・事故防止および対応マニュアル」を共有し、有事に素早く対応できるように初動体制を確立します。
- ・山内図書館、山内地区センターと施設管理者の3者ミーティングを年4回行い、危機管理の情報共有を行うとともに課題解決に向けた話し合いを行います。

(エ) 個人情報の適正管理

- ・横浜市個人情報の保護に関する条例及び有隣堂個人情報保護方針にもとづき個人情報を適正に管理します。新入スタッフには個人情報保護に関する取扱いの確認を義務付けます。
- ・有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査を行います。
- ・個人情報棚卸（リスクチェックとプロセス分析およびリスク対策）を行います。
- ・スタッフ全員を対象に、個人情報取扱についてテストを行い、取り扱いについての確認研修を実施します。

(オ) 適切な施設・設備管理

- ・建築物・建築設備ともに令和6年度山内図書館建築・設備の保守管理表に基づき点検を実施します（別紙3）。積極的な保守管理を行い、異常が発生する前に予防保全を心掛けます。
- ・設備機器の優先順位をつけ、計画的な予防保全等修繕を実施します。
- ・地震、台風、大雨等の自然災害発生時には、施設の損傷状況を確認して必要な対応をとるとともに、中央図書館企画運営課へ報告します。
- ・清掃・環境衛生管理は、業務水準どおり適切に維持管理を行い、定期清掃ではワックス掛けをし、美観を保ちます。

ウ 職員育成

(ア) スタッフの教育・研修

- ・令和5年度に策定した「横浜市図書館ビジョン」の基本方針5に則り、職員とアルバイトを対象とした下記研修を実施し、利用者対応の向上を図ります。

実施月	研修テーマ	内 容
4月	接遇研修 コンプライアンス研修 個人情報保護研修	日常の接客対応の基本を学び、コンプライアンス、個人情報の取り扱いの確認をする
6月	危機管理研修	施設に不審者が入ってきたときの対応方法を学ぶ
9月	防災研修 (地区センターと合同)	地震・火災を想定し、避難訓練を行う。出勤職員の初動を確認、消火器の設置場所、使い方を確認
11月	人権研修	障がいのある方への対応を学ぶ
2月	情報セキュリティ研修	情報セキュリティ確認テスト
3月	AED研修 (地区センターと合同)	消防署の指導によるAEDの取り扱い訓練。救急車到着までの対応を学ぶ

- ・職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会等主催の研修に参加し、それぞれの専門性を向上させます。
- ・有隣堂本部社員と館長が職員及びアルバイトの評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげます。

エ 財務

(ア) 効率的な管理

- ・予算内に経費を抑え、効率的に管理します。最低賃金の上昇及び物価高騰を鑑み予算を作成します。

(イ) その他

- ・山内堂は、商品アイテムを見直すとともに、自主企画事業と連動した書籍等の販売により売り上げを伸ばし、目標とする売り上げを目指します。

7. 予算案（令和6年度収支予算書）

令和6年度 「横浜市山内図書館」 収支予算書

収入の部						
(税込、単位：円)						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	190,677,000		190,677,000		190,677,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	110,000		110,000		110,000	
雑入	500,000		500,000		500,000	
自動販売機手数料等	500,000		500,000		500,000	
その他（ ）			0		0	
収入合計	191,287,000		191,287,000		191,287,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	110,000,000		110,000,000		110,000,000	
給与・賃金	94,130,200		94,130,200		94,130,200	賃金スライド
社会保険料	9,174,800		9,174,800		9,174,800	
通勤手当	5,936,000		5,936,000		5,936,000	
健康診断費	377,000		377,000		377,000	
福利厚生費	382,000		382,000		382,000	
事務費	4,685,000		4,685,000		4,685,000	
旅費	130,000		130,000		130,000	
消耗品費	1,400,000		1,400,000		1,400,000	
通信費	500,000		500,000		500,000	
使用料及び賃借料	15,000		15,000		15,000	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
雑誌・新聞購入費	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
施設賠償責任保険	120,000		120,000		120,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料（ごみ処理費）	500,000		500,000		500,000	
事業費	5,059,320		5,059,320		5,059,320	
自主事業費	4,101,000		4,101,000		4,101,000	商用データベース、座席予約システム料
自主事業費（図書取次サービス）	958,320		958,320		958,320	
管理費	39,042,680		39,042,680		39,042,680	
光熱水費	22,500,000		22,500,000		22,500,000	
電気料金	13,000,000		13,000,000		13,000,000	
ガス料金	5,500,000		5,500,000		5,500,000	
水道料金	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
清掃費	5,386,920		5,386,920		5,386,920	
修繕費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械警備費	880,000		880,000		880,000	
設備保全費	6,775,760		6,775,760		6,775,760	
空調衛生設備保守	1,994,300		1,994,300		1,994,300	
消防設備保守	396,000		396,000		396,000	
電気設備保守	1,237,500		1,237,500		1,237,500	
害虫駆除清掃保守	165,000		165,000		165,000	
建築設備保全費	2,277,000		2,277,000		2,277,000	
その他保全費	705,960		705,960		705,960	飲料水・ウォータークーラー水質検査、植栽剪定・草刈、煤煙測定業務
共益費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	LED交換
公租公課	9,500,000		9,500,000		9,500,000	
事務経費	23,000,000		23,000,000		23,000,000	本部支援費（人件費、システム経費等）、研修教材費
支出合計	191,287,000	0	191,287,000	0	191,287,000	
差引	0		0		0	

月	事業名	予算措置	記者発表	備考(連携先等)
4月	【企画展示】外部連携/テーマ未定			
	【企画展示】新しいこと、本といっしょに			統一事業
	ちいさなアーティストあつまれ! (ぬりえ募集)			統一事業、トリエンナーレ 関連事業
	図書館ボランティア養成講座基礎編	○		
5月	【企画展示】外部連携/横浜トリエンナーレ			にぎわいスポーツ文化局創 造都市推進課
	春の特別おはなし会 英語のおはなし会			シェアリング・ケアリン グ・カルチャー
	大人の倶楽部活動街歩き①	○		
	ふるさと青葉の紙芝居①			あおば紙芝居一座
6月	【企画展示】外部連携/横浜トリエンナーレ (前月から継続)			
	【企画展示】ちいさなアーティスト作品展示 (仮)			
	あざみ野ブックカフェ①	○		
	大人のためのおはなし会①			
7月	【企画展示】外部連携/テーマ未定			
	【企画展示】夏休み よんでみようこんな本			統一事業
	書いてみようショートショート	○		統一事業/田丸雅智氏
	【企画展示】夏休み よんでみようこんな本 (前月から継続)			統一事業
8月	わくわく科学教室	○		統一事業
	りんごの棚とインクルーシブ読書のイベント			りんごプロジェクト
	夏の特別おはなし会/夏のおはなしまつり			統一事業
	【企画展示】みんなでつくるやさしいまち			大場地域ケアプラザ、やさ しい街あざみ野実行委員会
9月	あざみ野ブックカフェ②	○		
	認知症サポーター養成講座			
	【企画展示】外部連携/特定健診・がん検診			青葉区福祉保健課
10月	【企画展示】青葉区と文学 阿川弘之 (仮)			統一事業
	秋の特別おはなし会 ハロウィーン			
	大人のためのおはなし会②			
	大人の倶楽部活動街歩き②	○		
11月	【企画展示】青葉区と文学 阿川弘之 (仮)			統一事業
	【企画展示】外部連携/子どもの虐待防止			青葉区役所
	青葉区読書活動推進事業 大型講演会 (登壇者調整中)	○	○	統一事業
	図書館ボランティア養成講座ステップアップ編	○		
	大人の倶楽部活動街歩き②	○		
	【事業協力】青葉おはなしフェスティバル2024			青葉おはなしフェスティバ ル実行委員会
【事業協力】山内地区センターまつり ブース出展			山内地区センター	
12月	【企画展示】外部連携/性感染症を知ろう			青葉区役所
	【企画展示】外部連携/テーマ未定			
	冬の特特別おはなし会			
	あざみ野ブックカフェ③	○		
大人の倶楽部活動街歩き③	○			

1月	【企画展示】外部連携／横浜の匠 横浜マイスターパネル展示(仮)			経済局雇用労働課
	大人の倶楽部活動ジブンプ③	○		
	ふるさと青葉の紙芝居②			あおば紙芝居一座
2月	【企画展示】外部連携／学校図書館活動展示			
	大人の倶楽部活動街歩き④	○		
	大人のためのおはなし会③			
3月	【企画展示】外部連携／学校図書館活動展示(前月から継続)			
	【企画展示】テーマ未定			
	大人のための調べ方講座			
	あざみ野ブックカフェ④	○		

定例おはなし会

事業名・団体名			日時
空とぶじゅうたん絵本と語りおはなし会			毎月第3水曜日 15:30～16:00
空とぶじゅうたん絵本と語り親子おはなし会			毎月第2・4金曜日 10:30～10:50
【新規】やまうちとしょかん日曜日のおはなし会			毎月第4日曜日 10:30～11:00
乳幼児健診出張おはなし会			毎月1回木曜日 ※7月・8月は除く

その他の定例的な事業

事業名			日時
子どもを育てるあそびとおはなし!“おはなしごっこ012”			毎月第4木曜日 10:30～11:45
図書館deマルシェ			毎月第4水曜日 10:30～13:30
テーマ展示			毎月 一般・児童
Happy Birthday 今月生まれの人の本			毎月 一般
有料託児サービス やまちゃんひろば			月2回 10:00～12:00
図書館でハマトレ			毎月第1・第3木曜日 10:00～10:30

令和6年度山内図書館学校支援年間計画

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
学校行事	入学式						修学旅行 社会科見学						夏休み						運動会						冬休み						卒業式					
山内図書館行事予定				特別おはなし会			蔵書点検			▲小学生の科学講座・一日図書館員(8月)																										
児童・生徒向けサービス	調べ学習(訪問・来館)																																			
	図書館見学																																			
	図書館インタビュー																																			
	まちたんけん(2年生)																																			
	ブックトーク																																			
	読み聞かせ(来館・訪問)																																			
	職業体験																																			
	職業研修(講話) 職業インタビュー																																			
	読んでみようこんな本各学年版印刷・配付 本の展示・配付																																			
	その他																																			
教職員・ボランティア向けサービス	学校図書館環境整備相談																																			
	連携相談																																			
	学校支援プログラムネットの配付																																			
	学校図書館教育研究会・教職員向け研修																																			
	レファレンス																																			
	教職員向け貸出・セット貸出・相談																																			
	学校司書相談																																			
	読み聞かせ講座(来館・訪問)																																			
	図書修理講座(来館・訪問)																																			
	図書修理相談(来館)																																			
活動相談																																				
その他連携事業	児童・生徒作品展示																																			
	青葉区小中学校図書館活動展示																																			
	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		

- ⇔ 重点的に相談を受け付けている期間
- 昨年度事業の申し込み状況を参考に事業を予定しているもの
- ▲ 開催予定講座及び事業 (△は検討中の事業)
- 山内図書館修理ボランティアによる修理相談受付

